

利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会 令和7年度の事業活動について

—関係省庁等への要望活動を実施しました—

令和7年6月24日、関係省庁及び（独）水資源機構に対し要望活動を実施しました。所管省庁に水道水源等の水質保全対策の推進等の要望内容を伝え、意見交換を行う良い機会となりました。

御参加いただきました皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

—第10回合同水質事故訓練を実施しました—

令和7年10月10日、合同水質事故訓練を実施しました。利根川の五料橋付近の地点において油膜が発見されたというシナリオに基づき、当日は3事業者による現場出動のほか、全42事業者でメールやクラウド型グループウェア等を活用した事業者間の情報共有を行い、各事業者において課題や改善点を確認いただきました。

訓練後のアンケートでは、「初動対応や情報伝達を確認する機会として有効であった」、「現場出動にあたり、各事業者が持っている採水地点付近の駐車箇所の情報を共有できたらよい」などの声が上がりました。

今後も、このような大規模な水質事故を想定した訓練を継続し、改善を重ねながら、水系全体としての水質事故対応能力の向上に取り組んでいくため、引き続き御協力をお願いいたします。



要望活動の様子



埼玉県による試験車内での臭気確認

—施設視察、技術研修、講演会を開催しました—

令和8年2月4日、茨城県企業局霞ヶ浦浄水場、水質管理センターの視察を実施しました。9事業者計17名に御参加いただき、オゾン促進酸化処理施設、水質分析機器の見学、質疑応答等を行いました。

参加者からは「オゾン促進酸化処理の導入にあたっての問題点等の話を伺うことができ、大変参考になった。」、「原水水質に課題がある浄水場の見学及び水処理についての話を聞くことができ勉強になった。」等の意見をいただきました。

令和8年3月6日、東京都水道局本郷庁舎にて技術研修を実施し、6事業者計7名に御参加いただきました。技術研修では浄水処理に関する講義及びジャーテストや異物試験の実習を行い、参加者からは「浄水処理の仕組みについて、実際の事例を挙げてわかりやすく説明していただいたため、きちんと理解できた」、「異物の採取から、分析、結果の整理まで、実際の対応方法に沿った研修で、分かりやすかった」などの意見をいただきました。

令和8年2月6日、国立研究開発法人土木研究所 岡安祐司氏により「土木研究所水質チームにおける研究内容の概要について」と題して講演会を行いました。対面とweb開催の併用により、13事業者の方に加え、相模川・酒匂川水質協議会の事業者の方にも聴講いただきました。

ダムから沿岸域まで水環境に関する幅広い研究内容について、実例を交えながら貴重なお話を伺いました。



オゾン促進酸化処理施設での施設説明



技術研修でのジャーテスト実習